

備蓄物資保管業務（豊平川東側）

企画提案書

※正本(1 部)のみ、表紙に社名を記載
副本(10 部)は、表紙に社名を記載しない

備蓄物資保管業務（豊平川東側）企画提案書（記載例）

※様式及びファイル形式は任意です。

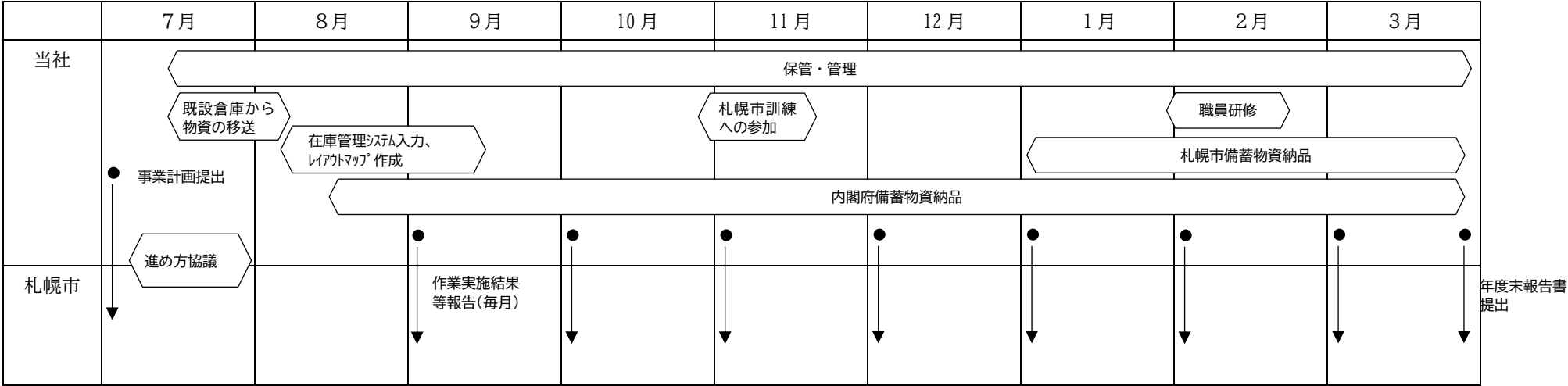
1 基本事項

(1) 組織体制	ア 備蓄物資保管業務の組織体制			
	■ 本業務担当部署			
		担当課	担当業務	人員等
	〇〇営業所	〇〇課	・連絡調整 ・在庫管理システム ・レイアウトマップ作成 ・訓練・研修の企画	責任者（課長）1名 担当1名
		〇〇課	・倉庫の開錠、施錠 ・物資保管 ・倉庫内作業 ・搬出入対応	管理責任者（課長）1名 現場担当者3名
	■ 管理責任者、現場担当者			
		氏名	勤続年数	保有資格
	管理責任者	〇〇 〇〇	25 年	災害物流専門家 倉庫管理主任 フォークリフト運転免許
	現場担当者	〇〇 〇〇	20 年	災害物流専門家 倉庫管理主任 フォークリフト運転免許 防災士 防火管理者
		〇〇 〇〇	18 年	フォークリフト運転免許
〇〇 〇〇		10 年	フォークリフト運転免許	
■ 再委託				
既存の防災備蓄倉庫からの備蓄物資の移送について、下記のとおり委託予定。 委託予定事業者：A運輸 ※企業名が特定できるような記載は不可 委託理由：当社で搬送用の車両を確保できないため。 期間：令和7年7月中旬～下旬（1週間程度） 予定事業費：〇〇千円（総事業費の〇%）				
イ 訓練・研修（予定を含む）、災害対応実績等				
■ 札幌市が実施する災害時物資供給訓練への参加 管理責任者1人、現場担当者1人が参加予定				
■ 自社での訓練・研修等 現時点では計画していないが、本業務を受託した場合には、停電時を想定した備蓄物資の搬出に係る訓練を企画する予定。				

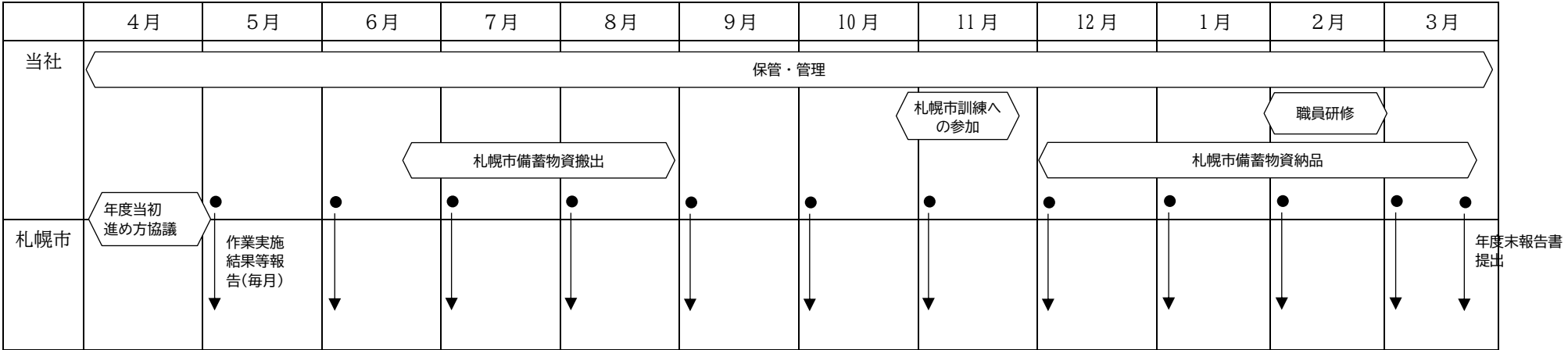
	■ 災害対応実績		
	平成○年○月	○○地震	地域輸送拠点の運営（物資の受入、仕分け等）
	平成○年○月	○○豪雨災害	避難所までの物資配送
	令和○年○月	○○地震	地域輸送拠点までの物資輸送
(2) 業務運営	ア 緊急時の連絡体制 緊急連絡先は以下の順とする。変更が生じた場合は札幌市へ速やかに報告を行う。		
	<pre> graph LR A["管理責任者 ○○ ○○"] --> B["現場担当者 ○○ ○○"] B --> C["現場担当者 ○○ ○○"] B --> D["現場担当者 ○○ ○○"] </pre>		
	イ 事故対応 ・ 備蓄物資の破損等が生じた場合は、速やかに札幌市への報告を行う。 ・ 事故の原因を解明し、札幌市と協議の上、改善策を講じる。 ・ 事故の原因が当社に帰する場合は、賠償責任保険等による対応を行う。		
	ウ 業務実施結果報告・改善提案等 ・ 毎月上旬に、前月の在庫管理状況や作業実施結果等について、札幌市に報告を行う。 ・ 打合せ時には在庫状況について出力し、提出する。 ・ レイアウトの変更等が生じた場合には、適宜報告を行う。 ・ 災害時の搬出時作業が速やかに進むよう、保管方法やレイアウトについて、札幌市に提案を行う。 ・ 毎年3月には、各年度の業務報告書を提出する。		

(3) スケジュール

■ 令和7年度



■ 令和8・9年度



2 確保予定の倉庫

(1) 倉庫機能	ア 物件概要	
	所在地	札幌市〇区〇〇条〇〇丁目〇ー〇
	竣工年月	平成〇年〇月竣工
	構造	鉄骨造〇階建て（〇階部分で保管予定）
	敷地面積	〇〇㎡
	延床面積	〇〇㎡（うち〇階約〇㎡で保管予定）
	車両進入スペース	高床式 10t 車 5 台接車可能
	駐車スペース	〇t 車〇台、普通乗用車〇台駐車可能 ロードヒーティングあり
	その他	天井高〇m、耐荷重〇t/㎡
	周辺地図 建物外観写真 ※建物に会社名が写らない よう加工等行うこと	
	建物内部写真 （保管スペース） 建物内部写真 （昇降機）	
	敷地内写真 （トラックバース） 敷地内写真 （駐車スペース）	
	イ 設備概要	
	貨物用昇降機	2 台
	温度管理	常時換気
	その他	事務室〇㎡（災害発生時使用可能） 各階トイレ整備あり

	ウ 構造(耐震・耐火) ■ 耐震 新耐震基準に適合 ■ 耐火 別添建築確認済証のとおり											
	エ 本業務での予定区画等 ・ 1階〇㎡使用予定 ・ 3段積みラック設置 平面図 写真											
	オ 荷役用資機材 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">フォークリフト</td> <td> フォークリフト ・ バッテリー式〇台 ・ ディーゼル〇台 </td> </tr> <tr> <td>ハンドリフト</td> <td> 電動ハンドリフト〇台 手動ハンドリフト〇台 </td> </tr> <tr> <td>パレット</td> <td> 常時〇枚程度あり ※必要に応じてレンタル品も活用 </td> </tr> <tr> <td>ロールボックス</td> <td> 常時〇台程度あり ※必要に応じてレンタル品も活用 </td> </tr> <tr> <td>ラック・棚</td> <td>〇階部分は〇段積みができるラックを設置済</td> </tr> </table>		フォークリフト	フォークリフト ・ バッテリー式〇台 ・ ディーゼル〇台	ハンドリフト	電動ハンドリフト〇台 手動ハンドリフト〇台	パレット	常時〇枚程度あり ※必要に応じてレンタル品も活用	ロールボックス	常時〇台程度あり ※必要に応じてレンタル品も活用	ラック・棚	〇階部分は〇段積みができるラックを設置済
フォークリフト	フォークリフト ・ バッテリー式〇台 ・ ディーゼル〇台											
ハンドリフト	電動ハンドリフト〇台 手動ハンドリフト〇台											
パレット	常時〇枚程度あり ※必要に応じてレンタル品も活用											
ロールボックス	常時〇台程度あり ※必要に応じてレンタル品も活用											
ラック・棚	〇階部分は〇段積みができるラックを設置済											
	カ 停電時の対応 ・ 搬出入口となるシャッターは、停電時にも手動で開閉が可能 ・ フォークリフトやハンドリフトの充電は平常時行っており、6時間程度は使用可能 ・ 昇降機が使用できない場合は、手運びでの搬出を行う。											
	キ セキュリティ対策 ・ 敷地内に防犯カメラ〇台を設置 ・ 倉庫内は機械警備を契約											

(2) 立地	ア 周辺道路等アクセス ・ 国道○号（緊急輸送道路）まで○km ・ 道央道○インターチェンジまで車で○分 位置図
	イ 災害リスクの有無 ・ 敷地内の一部が浸水想定 0.5m 以下 高床(バース高○m)のため、浸水深より床が高く浸水を回避 ・ 土砂災害警戒区域外 ハザードマップ

3 既存防災備蓄倉庫からの備蓄物資搬送

(1) 搬送方法等	1 (1)アのとおり、A運輸に搬送を委託予定 予定は以下のとおり			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>7月中下旬</th> <th>8月上旬</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 札幌市との調整 既存倉庫において搬出する物資の梱包、仕分け 当社倉庫への搬送(5日間程度) ラップ等安全対策 札幌市による確認 </td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	7月中下旬	8月上旬	札幌市との調整 既存倉庫において搬出する物資の梱包、仕分け 当社倉庫への搬送(5日間程度) ラップ等安全対策 札幌市による確認
7月中下旬	8月上旬			
札幌市との調整 既存倉庫において搬出する物資の梱包、仕分け 当社倉庫への搬送(5日間程度) ラップ等安全対策 札幌市による確認				

4 備蓄物資の保管及び在庫管理方法

(1) 保管方法	・ 札幌市の備蓄物資は、パレット3段積を予定 ・ 内閣府の備蓄物資は、ロールボックスで納品される物資は1段パレットで納品される物資のうち、高さ 1.2m 以下のものは、ラックを使用し、2段積 ・ 札幌市の物資と内閣府の物資はスペースを分けて保管する ・ フォークリフトが使用できるよう通路は幅○m で設定 ・ 物資は搬入時にラップを巻くなど荷崩れ防止策を講じる
----------	--

積載方法、使用資機材等 イメージ図
(イラスト、写真等)

(2) 在庫管理方法	ア 在庫管理 ・ 当社で使用中の在庫管理システムを活用 (記録項目) 品目、製造元、期限、個数、保管状況 ・ 物資のデータは CSV 書き出しが可能であるため、札幌市が必要な際には出力し提出する。
	イ レイアウトマップの作成 ・ 物資の納品時にレイアウトマップを作成 ・ 在庫状況に変化が生じたときは、更新を行う ・ Excel を使用予定 ・ レイアウトマップのイメージは次のとおり

レイアウトマップイメージ

5 災害時の対応

(1) 体制	災害時には、以下の体制で対応を行う。なお、本業務を受託した場合には、備蓄物資の出庫に向けてのマニュアルを作成し、平常時より災害時の対応について共有する。 ■ 体制 ・ 営業時間内：出勤者により対応 ・ 営業時間外：1(2)アの緊急時の連絡体制により職員に連絡し、参集、対応を行う。 ■ 手順・対応方法 以下の手順で対応を行う。 1 職員の安否確認 2 施設内外、物資の状況確認 3 札幌市への状況報告、札幌市に備蓄物資供給の可能性について確認 4 備蓄物資供給を行う場合、出庫用資機材の準備、作業方法確認 5 札幌市の供給計画に基づき、ピッキング 6 札幌市・輸送事業者と出庫作業についての調整 7 輸送事業者への物資引渡し ※ 物資に損傷がある場合は、対応について札幌市と協議
(2) 出庫作業	■ 資機材の確保 必要な資機材については、2(1)オのとおり平常時より確保 ■ 出庫作業方法 札幌市・輸送事業者と調整の上、倉庫内でピッキングを行う。供給する備蓄物資の量に応じ、ロールボックスやパレットで引き渡す

6 独自提案

(1) 独自提案	
----------	--